

1999年7月の東北地方の天候(速報)

【7月の特徴】

- 13~14日に太平洋側で記録的な大雨
- 下旬は記録的な高温

(1) 概況

この期間、上旬は一時的にオホーツク海高気圧の勢力が強まり、気温が低目に経過した時期があったが、中旬以降は日本の南海上を北上する弱い熱帯低気圧の影響でしばしば暖湿な空気が流入したり、太平洋高気圧の勢力が強まったたりしたため、高温に経過し、記録的な高温になる日もあった。月平均気温は東北平均でやや高く、1月以来の月平均気温が高い状態が持続した(参考資料参照)。また、梅雨前線の活動が活発化した13~14日にかけては、太平洋側で記録的な大雨となった。

仙台管区気象台は、“東北地方南部は7月24日頃、東北地方北部は7月26日頃梅雨明けしたとみられる”と発表した。(ただしこの梅雨明けの時期は暫定値であり、後日検証により確定したもののが発表される。)

気温は北部でかなり高く、南部でやや高い。降水量は日本海側は平年並、太平洋側はかなり多い。日照時間は平年並。

(2) 天候経過

上旬： 3~4日は梅雨前線の影響で全般に雨となった。その後はオホーツク海高気圧が張り出し、北高型の気圧配置になり、太平洋側は曇り、日本海側は晴れの日が多くなった。

気温は平年並。降水量は北部で平年並、南部でやや少ない。日照時間は北部で平年並、南部でやや多い。

中旬： この期間、梅雨前線や弱い熱帯低気圧の影響で、全般に雨になる日が多かった。特に13~14日は日本の南海上に発生した弱い熱帯低気圧がゆっくり北上したことにより、暖湿な空気が流入して梅雨前線の活動が活発となり、太平洋側では記録的な大雨となった。13日の日降水量は宮古で170.0mm(7月としては第1位)、大船渡で129.5mm(7月としては第2位)、白河で101.0mm(7月としては第3位)になった。この大雨により岩手県で増水した川に転落し一人が死亡した他、各地で浸水、がけ崩れなどの被害が発生した。

気温はやや高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側でかなり多い。日照時間は日本海側でやや少なく、太平洋側でかなり少ない。

下旬： 前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は太平洋高気圧に覆われ、晴れて暑い日がつづいた。特に、27日は日最高気温が秋田36.4、新庄36.9、若松36.7と7月の極値を更新した。

気温はかなり高い。降水量は日本海側でやや多く、太平洋側で平年並。日照時間は日本海側は平年並で、太平洋側はやや多い。

(3) 月統計値の極値・順位の更新

(3位まで。但し白河の月降水量は統計期間が短いため、1位に該当した場合のみ示す。)

<月平均気温の高い1値>

3位 新庄 23.3

<月降水量の多い1値>

1位 大船渡 402.0mm 白河 311.0mm

2位 宮古 358.5mm

<月降水量の少ない1値>

2位 新庄 75.5mm

表1.月気候値表(1999年7月)

地 点	月平均気温(平年差)		月降水量(平年比)		月間日照時間(平年比)			
	階級		mm	%	階級	h	%	階級
青 森	22.1	(+1.2) やや高い	125.5	(125)	平年並	150.3	(84)	やや少ない
深 浦	22.6	(+1.3) やや高い	158.5	(103)	平年並	175.2	(98)	平年並
む つ	20.5	(+1.0) やや高い	157.5	(126)	やや多い	125.1	(79)	やや少ない
八 戸	21.2	(+1.1) やや高い	141.5	(117)	平年並	140.4	(82)	やや少ない
秋 田	24.6	(+2.0) かなり高い	160.0	(86)	平年並	153.6	(88)	平年並
盛 岡	23.1	(+1.4) やや高い	145.5	(86)	平年並	138.8	(93)	平年並
宮 古	20.8	(+0.8) 平年並	358.5	(290)	かなり多い	125.4	(85)	やや少ない
大船渡	22.5	(+1.7) かなり高い	402.0	(243)	かなり多い	134.1	(89)	平年並
山 形	24.2	(+1.1) やや高い	153.5	(107)	平年並	154.3	(98)	平年並
新 庄	23.3	(+1.3) ---	75.5	(39)	---	139.7	(103)	---
酒 田	24.5	(+1.6) ---	173.0	(95)	---	173.5	(93)	---
仙 台	23.4	(+1.4) やや高い	261.5	(174)	かなり多い	151.3	(122)	やや多い
石 卷	22.4	(+1.1) やや高い	175.5	(140)	やや多い	168.0	(114)	やや多い
福 島	24.2	(+0.7) 平年並	257.0	(187)	かなり多い	146.9	(108)	平年並
白 河	22.3	(+0.4) 平年並	311.0	(***)	---	121.1	(94)	平年並
小名浜	23.0	(+1.5) やや高い	194.5	(172)	かなり多い	185.3	(126)	やや多い
若 松	23.8	(+0.4) 平年並	201.0	(127)	やや多い	172.4	(104)	平年並

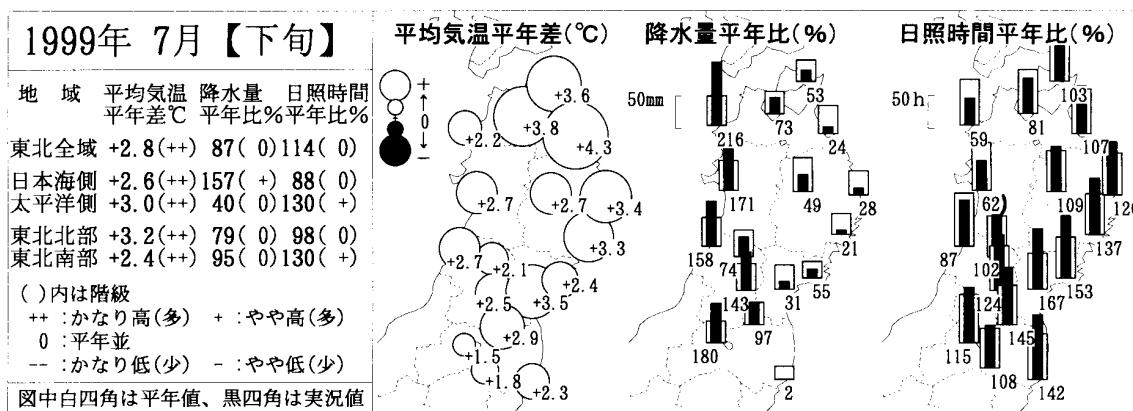
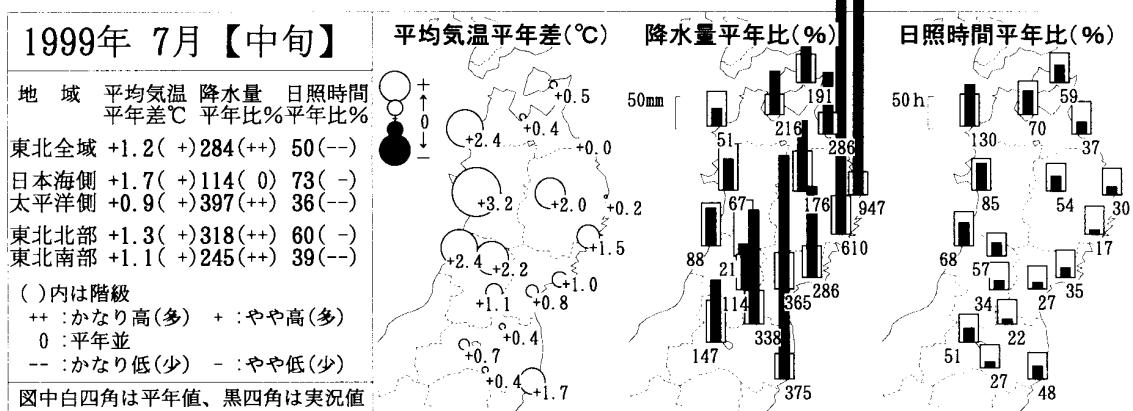
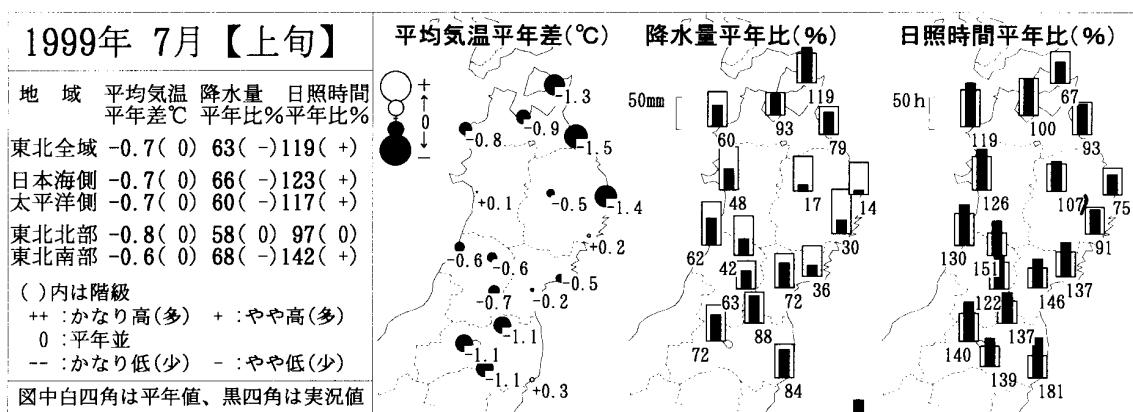
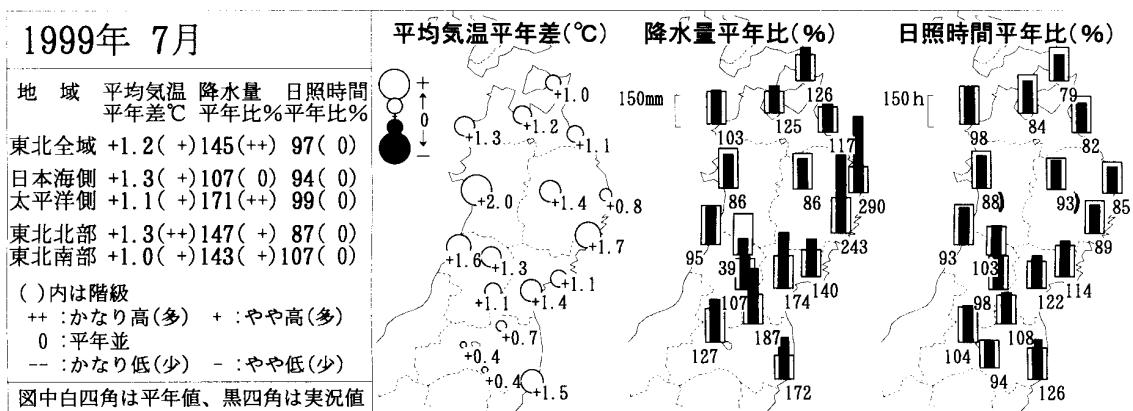
× : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし *** : 統計期間が 8 年に満たないため平年値がない。

--- : 統計期間が 24 年に満たないため階級区分値がない。

(酒田は準平年値(1971 ~ 1990 年)、新庄は累年平均値(1986 ~ 1996 年)との差(比)を示す)。

階級は「かなり低い(少ない)」「やや低い(少ない)」「平年並」「やや高い(多い)」「かなり高い(多い)」の 5 階級に区分されています。それぞれの階級幅は、1961 ~ 90 年の 30 年間に於いて出現した値を小さいほうから、10% (3 個)、20% (6 個)、40% (12 個)、20% (6 個)、10% (3 個) に区分し、階級の境界値は下位の階級の最大値と上位の階級の最小値を平均した値としています。統計年数が 24 年以上 30 年未満の場合についても同様の割合で区分されていますが、24 年未満の場合には階級区分がありません。

図1. 1999年7月の月、旬平均（合計）値の平年差（比）



平年値の統計期間は1961～'90年。但し酒田は準平年値(1971～'90年)、新庄は累年平均値(1986～'96年)を使用。
白河の降水量は統計期間が短く、平年値が無いので表示しない。